

2012 年度 甲南大学法科大学院入学試験問題

## 専門論文試験 憲法

(60分)

### 受験についての注意

1. 試験開始の合図があるまで問題冊子を開いてはならない。
2. 問題は1ページのみである。印刷不鮮明、汚損等があれば申し出ること。
3. 解答用紙は1枚である。解答用紙には裏面もあるので注意すること。
4. 答えは、横書きとする。
5. 答えは、実線内の番号に従って書き進めること。
6. 答えは、黒ボールペンまたは黒インクの万年筆で記入すること。これら以外で記入された答えは、無効となる。
7. 答えを訂正するときは、訂正部分が数行にわたる場合は斜線で、1行の場合には横線で消して、その次に書き直すこと。
8. 下書きには、問題冊子の余白を適宜利用すること。
9. 問題冊子は必ず持ち帰ること。

## 専門論文試験 憲法

### [第1問]

次の事案を読んで、下記の設問に答えなさい。

#### [事例]

株式会社A放送は、テレビ番組の中で「振り込め詐欺の実態」と題する特集を放映した。そこでは、詐欺団が組織的に詐欺行為を働く場面（電話、口座からの引き出し）が詳細に映っていたが、詐欺団の顔にはモザイクがかかり声も変更されていた。この放映を契機に、当該詐欺団に対する捜査が開始され、詐欺団のリーダーらが逮捕勾留された。逮捕勾留された被疑者らは、大筋で犯行を認めており、証人もいたが、関係者の供述は細かい点で一致しなかった。

その後、司法警察員は、差押許可状を得て、A放送本社内で、被疑事実の裏付けとなる被疑者の詐欺行為場面を収録した生データが記録されたディスクを証拠として押収した。

#### [設問1]

- (1) 「報道の自由」及び「取材の自由」は、憲法上どのような扱いを受けるか。また、その理由は何か。判例の立場を書きなさい。
- (2) A放送は、憲法上の権利の享有主体となり得るか。判例を踏まえつつ、答えなさい。

#### [設問2]

- (1) 判例によれば、取材の自由の制約はどのような場合に認められるのか。また、取材の自由の制約が許されるかどうかを、どのようにして判断するのか。
- (2) 上記事例において、A放送が、押収処分を取消しを求める準抗告を裁判所に申し立てたとするれば、その主張はどのようなものとなるか、述べなさい。

※準抗告：裁判官がした勾留、押収などに関する裁判に対して、不服のある者がその取消又は変更を求める申立て（刑事訴訟法429条1項）。

### [第2問]

- (1) 国会が「唯一」の立法機関であることの意味を、説明しなさい。
- (2) 憲法76条1項にいう「司法権」の意味について、裁判所法3条の「法律上の争訟」と関連づけて、説明しなさい。